



だっこらっこくらぶ通信

つうしん

Vol.6

CIFAだより

Vol.91 別刷り



だっこ
らっこは
たのしいね



みんなであそぼう
らんらんらん



“いま、できることを・・・”

だっこらっこくらぶ再開にあたって

今年度、コーディネーターを務める原藤さんに伺いました。

■再開にあたってどのように感じられましたか？



最初は不安が大きかったのですが、少しでも続けることが今後のためになると思って対面学習を再開しました。安心して遊べることも閉じこもりがちなお母さんのストレスを和らげられているようで良かったです。

■苦労していることは何ですか？

保育室の定員を守りながらボランティアの数を調整することが難しいです。

■これからの活動については？

Today's special など、だっこらっこくらぶならではの活動を少しずつでも行っていきたいです。また、家族の健康不安や仕事のため対面活動に参加できないボランティアや学習者ともつながる方法を見つけたいです。

学習ペア紹介①

ボランティア: 名前(活動歴〇年) ①だっこらっこくらぶのよいところ ②学習者の紹介
学習者: 名前(出身国) ①子どもの名前(性別・年齢) ②入会年月
③だっこらっこくらぶの楽しいところは？

ボラ: 内河 裕美さん(CIFA・だっこらっこ 3年)

- ①学習者さんがお子さんの近くで安心して勉強でき、お子さんにも臨機応変に対応できること。
- ②とても日本語が上手で、まじめに勉強している方です。

学習者: サイ エンガンさん(中国)

- ①そん ゆうか(女 3歳) ②2020年4月
- ③子どもが遊べるし、自分も勉強できること。



～Today's special～日本語で発表～

CIFAでは毎年秋に「日本語で話そう会」を開催しています。今年度は残念ながら、長く休止期間が続き、だっこらっこくらぶの学習者は参加できませんでした。

そこで10月15日、中国出身のサイさんとベトナム出身のヴィさんの2名が、日本語で発表する場を設けました。

サイさんは、「ゆうかのはじめての運動会」という題でプレ幼稚園に通うお子さんが、初めての運動会でリズム体操や、かけっこなどを頑張ったことを話しました。

ヴィさんは、お子さんが産まれる前にご主人と行った「長野の旅行」について、聞く人がその光景を想像してしまうほど臨場感あふれるスピーチをしてくださいました。

2名のスピーチに、皆温かい拍手を贈り、お子さんたちも笑顔になりました。

